

株主のみなさまへ

平成27年3月31日

第28回定時株主総会招集ご通知

福島県南会津郡只見町大字楢戸字二本柳1458-1
たもかく株式会社 代表取締役 吉津耕一

株主のみな様、いつもご支援いただきありがとうございます。当社第28回第27期の定時株主総会を下記の通り開催しますのでご出席下さいますようお願いいたします。

当日来れない方は、お手数ですがこの資料に記載された内容を参考に、同封のハガキの議決権行使書兼出欠確認票を利用いただき 記名押印の上、総会前日までに届くようにご返送をお願いします。

記

- 1 日時 平成27年4月25日 土曜日
午後3時00分より
- 2 場所 只見町大字叶津字居平456
叶津番所 囲炉裏の間 0241-82-2407
- 3 会議の目的事項
報告事項 平成27年1月期の営業報告 会計書類の説明
決議事項 第1号議案 1.損失金処理案 全額を翌期に繰り越すものとする
第2号議案 1.任期満了に伴う取締役選任の件
現取締役4名は本会議集結時に任期満了となりますので現取締役4名の 再任をお願いします。
取締役候補 吉津耕一 目黒紘 坂本知忠 高野行央

総会後に叶津番所に宿泊される方は宿泊料3500円をご負担ください。出欠ハガキで通信欄に番所宿泊希望とお書きください。

※また翌4月26日、午前11時から入会地で今期の長浜入会地の増加場所と今後の水害復旧砂防工事予定箇所の案内を行います。

どちらのご参加も 準備の都合上、総会出欠ハガキの通信欄・メール・FAXなど記録に残る連絡方法で4月23日までにお知らせください。 たくさんのご参加お待ちしております。

＜営業報告書＞

2015年1月期は、昨年見られた回復傾向が見られず、問い合わせ、売り上げ、契約などほぼすべての面で再び落ち込みました。原発事故後の需要不足を補うため始めたみんなの森協同組合の仲介物件の掃除片付けも年間を通じて2件と件数金額ともにふるわず、仕事の需要不足を補うことができませんでした。このため売上高は前期比4874569円減少の14469473円、営業損失4848428円、農地転用ができずに引渡しができないことが確定して創業直後の売掛金の回収不能となった貸倒損失11625228円などの特別損失を加えて経常損失6144493円、特別利益として東電からの賠償金6476117円と法人税699020円を計上後の今年度の純損失は367396円となりました。

このような中で比較的堅調だったのは、只見町に移り住まわれた山荘オーナーから依頼された、趣味の山の手入れやマキストーブのマキを間伐するための雑木林用の山林の販売でした。今後はこのような地元の人や移住者に向けた事業や商品にもさらに力を入れて行く予定です。

当期株式の募集と移動状況について

2015年1月期は1株8万円で50株の自社株式売り出しにより、新しい株主を募集しましたが、新規の株主1名から1株の応募があったにとどまりました。

また、今期は前期から引き続いての譲渡希望も含め、49名の株主から354.68株、希望譲渡価格1株25000円から85000円で株式譲渡希望がありました。これに対し、今期は譲渡の成立は1.4株1名義のみでした。相続や贈与による移動は家族親族5名義を1名にまとめるもの1件で22,56株でした。名義の移動に伴う期末の株主総数は614名発行済み株式総数6642株、前年度からの株主の減少は2名でした。

入会地の状況

当社は都会のお客様や株主の皆様に、ブナ、ナラ、クリ、トチ、ホオなど、落葉広葉樹の雑木林で、山菜採りやキノコ狩り、木の実拾いや散策をして楽しんでもらうという事業目的で営業を続けてきましたが、2015年1月期も原発事故の風評被害などの影響により入会地を利用するお客様は極端に減少したまま回復しませんでした。

長浜入会地の奥の斜面にあった比較的大きな40480平米の個人名義の山林は2014年度の株式売り出しによる取得資金により購入予定でしたが、金融機関により抵当権が設定されていたため、取得や登記手続きが2015年1月期になりました。これにより、柄沢地区のほぼ全ての所有地が地続きとなり利用の便益は格段に良くなりました。今後は新たな山林の取得は控えて、遊歩道の整備や間伐下刈りなど利用しやすい森作りに投資の重点を移して行く予定です。

柄沢地区の栗林から砂防ダムに至る林道は4年前の水害で深くえぐれて沢状に浸食されていましたが只見町の2015年度以降の砂防事業で蛇籠堰堤が設置されてこれ以上の浸食が進行しないように対策がとられる予定です。

たもかく本の街の状況について

2015年1月期のたもかく本の街の事業は、地元的一般客や遠方からの来客とネット通販には幾分回復する兆しが見られましたが、古書店のまとめ買いや新聞、雑誌、テレビ番組での紹介などは引き続き落ち込みました。2014年11月19日朝日新聞夕刊の記事、マガジンハウス発行のGINZA12月号特集記事「本とコート」、パル生協関連の雑誌3.mi2月号など年間を通じて3つの媒体による紹介のみでした。これは件数としても紹介の大きさや反響の面でも事業開始以来最も少ない年度となりました。

設備面では昨年に引き続き消雪設備用の通路を文庫館、うらない館、みんなの森協同組合所有の家具展示棟まで延長し、5月の連休前に車で全ての建物に出入りできるようにする設備を作りました。